

「モンスターペアレントって本当にいるの？」

最近よく聞く質問だ。その前は教員免許更新制に絡み「問題教員って？」だった。犯人捜しは時に問題の本質を見誤らせる。

教職に就いて25年近くだが、確かに子供を取り巻く諸問題には変化が見られる。しかし、それは「誰かのせい」ではなく、地域交流の希薄化、核家族化、少子化、情報化など「社会構造の変化がもたらしたもの」と考える。

私は下町育ちで、商店街のおじさんおばさんの「善意の監視網」の中で育った。学校帰りに買い食いをする、帰宅前には親の耳に入った。母は近所の子供が悪さをしていくと、運転中の車から降りてしまっていた。家族は4世代同居、親とぶつかったときは祖父母が間に入ってくれ

品川女子学院校長 漆紫穂子



た。かつて子供は多くの「善意の第三者」に囲まれて育った。今はそれを教員と子育て

するし、しほこ 東京都内の私立校教諭を経て品川女子学院で学校改革に着手。社会で活躍する女性の育成を目指す。昨年4月から現職。文科省新システム開発プログラム委員。約200億円、4年間で全中学校区に広げていく。有資格者やさまざまな仕事・特技を「親子でテーマを共有して地域住民のボランティア」など感想を述べていた。持つの学校でも、社会人ゲス備、登下校の安全指導などを

「善意の第三者」発掘を

経験の少ない親だけで担当せざるを得ない。一方、子供の世界は情報化により大人の目の届きにくいところへと広がっている。子育てに慢性的人手不足が生じ、さまざまな問題が起ころのは当然である。文科省は「学校支援地域本部」(仮称)を設置する計画だ。平成20年度の概算要求は

行っ。これはすでに、杉並区立和田中学校で実践されており、具体的成果も上がっている。民間でも動きが出てきた。ある時、金融の専門家を招き授業をした。講師が参加生が銀行勤めで毎日帰宅が深夜、話す時間もない。その父

の仕事を少しでも理解したく「という子がいた。思春期の心理は複雑である。距離の遠い大人の方が素直にコミュニケーションでき、それが身近な大人との人間関係にフィードバックされることもある。一方、「直接金融と間接金融の違いって何？」と子供に聞かれ、専門家として説明したが全く通じずショックを受け、金融経済教育インストラクターの資格を取った保護者もいる。今は「自分の子供以外にも教えたい」とうた。社会には、教育への志と能力とを併せ持つ人材が隠れている。公立、私立、民間企業を問わず、「善意の第三者」と子供たちが出会うプラットフォームを作ることで、これが、現代の社会構造の変化に対応し、子供たちを守り育てる手段なのである。

解答乱麻

教育

毎週水曜日掲載